

武蔵工業大学後援会誌

Mi-com

No.

13

1995-12



武蔵工大の秋祭り

聞こえるのは笛の音ならぬジャズにロックの生バンド

手作り屋台はおでんにタコスとワールドワイド

見て、聞いて、食べて極楽MIT祭

舞台上に立てばなお楽し

のんびりとした小春日和の青春の1シーン

“Something in everything, everything in something”



武蔵工業大学後援会副会長

黒崎 浩

武蔵工大を訪ねる時は、尾山台駅を降りてハッピーロード（商店街）をブラブラ歩きながら、環八道路の直ぐ手前右にある瀟洒な洋菓子店で一服するのが習慣になった。窓際の小さなテーブルを前に、少し苦目のエスプレッソを吸いながら、ほんのひとときの幸せに浸る。

武蔵工大のキャンパスは、都内では珍しく広い空と緑豊かな自然に恵まれている。ここに静かに集う若い学生の皆さんに、次の言葉を贈りたいと思う。

“Something in everything,
everything in Something”

即ち「幅広く種々な事に興味をもつと同時に、特定の事については専門家としての強さをもつこと。」という程度の意味だろうか。併し、これが今後の長い社会生活を生きる上で極めて大切なものになる。

ご子弟は難関の理工系入試を突破して、本

学に入学され、現在は工学部の夫々の専門学科に所属し、謂はばその道のプロ——専門家を目指して勉学に励んでおられる。その意味ではこの言葉の後段“everything in something”は既に約束されたものといってよいだろう。

問題は、寧しろ前段の“Something in everything”にあると思う。併し、その為に専門外の種々な難しい勉強などを考える必要はない。要するに〈政治、社会、国際、ボランティアから観劇、ロック、TV、芸能、スポーツ等〉何にでも好奇心をもって挑戦し、吸収し、身につけて欲しい。本学の課外活動は、その最も適した場になるはずだ。そして、それらの原点は、まさに「遊び心」にあるといっても過言ではないと思う。

学生の皆さんには、よく学び、よく遊んで、豊かな感性と創造力を秘めた新しい工学士への道を歩んでもらいたい。

平成7年度 東京地区 「父母との連絡会」密着レポート



▲飯田後援会会長

▼午後1時より体育館で行われた全般説明



秋風が少し肌寒く感じられる9月30日(土)に、今年も東京地区「父母との連絡会」が行なわれました。参加されたのは東京、神奈川、千葉、埼玉のご父母を中心に、約670名ほど。和やかなムードの中、学内見学、学食での昼食会、学長などによる説明会といったスケジュールをこなしていききました。

ここでは、参加されたご父母の感想を交えながら、この「父母との連絡会」の模様をレポートします。お子さまたちがどのような指導のもと、どのようなキャンパスライフを過ごされているのか、そのあたりの雰囲気伝われば幸いです。

続々と駆け付けるご父母たち 期待と熱気が伝わってきます

東京地区「父母との連絡会」はまず学内見学会からスタート。この学内見学会は、自由参加のプログラムですが、ほとんどのご父母が学内見学会の受付を開始する11時に、体育館入口に集まりました。ご夫婦で参加される方も多く、今回の連絡会に対する熱意や期待が伝わってきます。集まったご父母は30人一組程度のグループに分かれ、見学会に出発していきます。「わが息子やわが娘は、普段どのような環境のもとでキャンパスライフを送っているのか?」手渡されたキャンパスマップを片手に、皆さん興味しんしんの面持ちで職員に率いられていきました。

お子さまたちの日常に思いを馳せながら キャンパスの各施設を巡る「学内見学会」

グループが最初に向かったのが、「水素エネルギー研究センター」。武蔵工大が20年にわたって研究してきた水素自動車の実用化に向けて、世界に先駆けて設置された、わが国で唯一の研究施設です。ご父母の皆さんは展示される水素自動車の実物を興味深げに眺めています。「燃料タンクはど

こ?」「最高速度は?」などなど、職員に活発に質問を浴びせかける光景も見られました。また中には「なんだか学生の頃の社会科見学みたいね」と笑っておっしゃるお母さまも……。皆さんこの見学会の雰囲気をめいばい楽しんでる様子です。

続いて、各学科の研究室が雑居する「不夜城」「10号館」(7ページ参照)や「テニスコート」をまわり、「情報処理センター」へ。ここは創立50周年記念事業で建てられた、武蔵工大の情報処理教育・研究の中心施設。昨年8月にはスーパーコンピュータも導入され、全学科ともに1年次よりここで情報処理の教育を受けます。次に電気電子工学科、電子通信工学科の実験室や研究室、マルチメディア・ネットワークシステムを備えた会議室など、さまざまな施設を内包する「五島記念館」へ向い、電子通信工学科音響研究室の「残響室・無響室」を見学します。ちなみにここで説明を担当するのは研究室の学生たち。緊張のためか、少々ぎこちない場面もありましたが、そこはそれ、見学会にリラックスムードを作る一助となっていたようです。

その後は「図書館」「掲示板」をまわり、見学コースのラスト「学食」へ。ここでは学生が普段利用している学食の味を堪能してもらおうという趣向です。当日のメニューはボリュームたっぷりの中華丼。「私たちにはちょっと多すぎ

るんじゃないか」「味はなかなかのものね」などといった声
があらちちから聞こえてきます。また昼食タイムの間、
体育館では吹奏楽団所属のジャズバンド、「スタック・サウ
ンズ・オーケストラ」によるコンサートが催され、食事を終
えた方々が、和やかな午後のひとときを楽しんでいました。

就職関連の説明には 熱心にメモをとるご父母の姿も

午後1時からは体育館で、学長と後援会会長による挨拶、
そして就職連絡協議会議長による武蔵工大の就職状況に対す
る説明です。

古浜学長は「学業はもちろん、部活やサークル、学祭など
の課外活動に力を注ぐことも、学生
の人格形成に大きな好影響を与える」
というお話を中心に、ご父母の方々に課外活動への理解と協力を呼びか
けました。さらに、最近のデータ
を踏まえながら、「武蔵工大は指導力
ある人材を養成することに重きを置
いており、その成果がここ数年の不
況時における就職率の高さに結びついている」と話され、ご
子息の就職について不安を抱かれていますご父母の方々にとつ
て、大変興味深い内容となったようです。



▲古浜学長



●受付



●水素エネルギー研究センター



●13号館



▲昼休みの時間、体育館では吹奏楽団所属のジャズバンドによる
コンサートが行われた



●学食（9号館）



建築学科20年
小林啓子さん
のご両親

すがすがしい学生の多い
気持ちのいいキャンパス

2回目の参加です。娘が卒業する前にも
う一度キャンパスをのぞいてみたくなり
まして。こういった機会はなかなかあり
ませんからね。ゆっくりと学内各施設を
巡ってみると、その充実ぶりを、あらた
めて実感しました。私たちの学生時代と
比べれば、娘達ははるかに恵まれた環境
のもとで学んでいるんだな、と少々うら
やましくも感じましたね。あと学生たち
の雰囲気がいい。学生らしいというが、
すがすがしさが感じられて。気持ちのい
いキャンパスですね。



電気電子学科1年
小野寺朋和さん
のお母さま

キャンパスの雰囲気はわり
楽しい一日が過ごせました

ちょうどいい広さのキャンパスなんじゃ
ないでしょうか。あまり広すぎて、学校
施設をフルに使えないというのもなん
ですし……。息子は自宅であまり大学の話
をしないものですから、今回参加して、
本当に良かったと思っています。各学科
の研究内容や、何よりキャンパスの雰
囲気がわかりましたから。息子は将来、博
士課程に進みたいと考えているよう
ですが、この自由な雰囲気の中でし
たら、有意義な研究ができるんじゃない
かしら。期待しています。



機械工学科2年
青木康哲さん
のお母さま

閑静な住宅街の中にあるから、
集中して学業に打ち込めそうですね

緑が多くていいですね。また住宅街の中
にあるから、学業や課外活動に集中して
打ち込めるというのも、武蔵工大の魅
力だと思います。息子が武蔵工大に入
学を決めたのは、高校の先生が強く勧
めてくれたから。就職率もいいし、
将来的に絶対にプラスになる、なんて
アドバイスをいただいたからなんです。
当の本人は最初「朝から夕方までき
つちり授業があるから大変」なんて
言ってますけど、友達も増え、いまは
毎日大学に行くのが楽しいらしい
ですね。

また古浜学長のざっくばらんなお話ぶりに大学の堅苦しいイメージを払拭された方も多かったのではないのでしょうか。続いて飯田後援会会長からは、会の活動内容の報告、ならびに今後の予定についてのお話があり、ご父母の方々はより一層、後援会に対する理解を深められたようでした。

就職連絡協議会議長(電気電子工学科・曾瀬教授)からは、具体的な今年度の就職状況と、武蔵工大の就職指導についての説明がありました。「就職氷河期ということで過剰反応することなく、きちんとした学生生活を送ることが先決」「就職活動は学校、父母、本人の三者が協力してこそ成功するもの」などのお話に皆さん熱心に耳を傾けていました。

この説明会のあとは、各学年・学科別の懇談会です。それぞれの会場となる教室へ分かれ、各学科の状況説明や個別面談が行なわれました。

こうして今年も「父母との連絡会」は盛況のうちにその幕を閉じました。お子さまたちが毎日を過ごすキャンパスでの一日……。参加されたご父母の方々にとって、とても有意義な一日であったことを願いつつ、このレポートを締めたいと思います。

●情報処理センター（15号館）



●掲示板



●電子通信工学科音響研究室「残響室・無響室」



建築学科3年
岡田学さん
のお父さま

職員の方々のていねいな説明が 好感を持てました

グループごとに学内の各施設をまわる学内見学では、職員の方々方がていねいにお話をしてくださり、普段息子がどんな環境で何を学んでいるかがわかりました。息子からある程度は聞いていたんですが、やはり自分の目で見ると、武蔵工大の環境の良さがよくわかりますね。また学食でいただいた中華丼にはびっくりしました。あのボリュームと味なら、食べ盛りの学生たちにとって心強い味方でしょう。少なくともうちの会社の社員食堂よりは断然いいですよ（笑）。



電気電子工学科1年
高宮仁さん
のご両親

息子の大学での生活を 垣間見ることができました

息子は下宿生活をしているものですが、なおさら彼がどんな毎日を送っているのかを知りたくて、それで参加を決めました。大学という堅苦しいイメージがつきものですが、武蔵工大にはそれが少しも感じられないので驚きました。こういう環境なら、息子も楽しく毎日を送っているんだろうな、と安心できます。サークル活動やバイトなどで毎日が忙しいかと思いますが、その忙しさにかまけず、在学中に大きな手応えのあるものを掴んでもらいたいですね。



電子通信工学科1年
穴戸正樹君
のお母さま、
お姉さま

今度はこっそりの部活の練習を 見に来ようかしら……

学内で見かける学生は、皆さん落ち着いた雰囲気の人ばかりで安心しました。うちの子は今、部活のアメフトに夢中なんです。今日はぜひ練習風景を見られたらと思っていたのですが、場所がちょっと離れているみたいなので残念です。息子はまだ1年ということもあって、将来のことは具体的に決めていないみたい。でも、大学進学のとときも本人任せにして正しい選択ができたようですから、あまり余計な心配はしないようにしているんですよ（笑）。

就職環境につきましては、景気の冷え込みが続き「どしゃぶり」から「氷河期」へ、今年はその上に“超”がつく就職戦線になりました。現実には予想以上に厳しかったといえます。

学生に対する選考方法は数年来の「まず適性検査を始めとする筆記テストでふるい落とす」という傾向が強くなると同時に面接も一段と厳しさを増しました。こういった厳選採用の中においても、10月下旬現在、本学では大部分の学生が内定を得ており、結果として、業種の拡大が見

れました。これは学生が、例年以上の企業研究・企業訪問を行った結果がようやく実を結んだというのが実際のところでしょう。

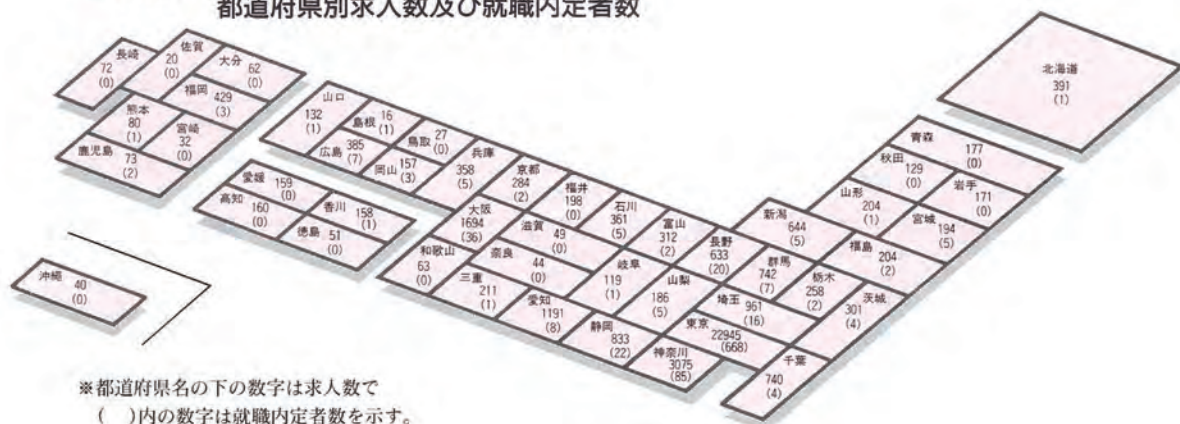
今後、依然として景気の先行きは不透明であり、仮に景気が上向いたとしても、不況に強い体質にする為にリストラ及び新規採用の抑制を進める企業が多く、雇用状況は当分楽観視できないという見方をされています。したがって、工学部生としても、基礎知識・専門分野の習得は勿論のこと、就職活動に対する早めな準備と積極的な取り組み方が今後必要です。

■平成7年度求人就職内定状況

(資料は平成7年11月1日現在大学就職課より)

平成27年度大学・短大・専門学校の就職・進学状況										
項目 学科・専攻		就 職 希望者	就職者	就職率 (%)	求 人 企業数	1人当り の企業数	求人数	1人当り の求人数	進学希望	その他
工 学 部	機 械 工 学 科	182	169	92.85	2,419	13.2	4,683	25.7	72	4
	電気電子工学科	117	115	98.29	2,529	21.6	4,899	41.8	65	11
	電子通信工学科	110	102	92.72	2,026	18.4	4,162	37.8	31	12
	建 築 学 科	105	100	95.23	1,999	19.0	4,272	40.6	38	1
	土 木 工 学 科	93	93	100.00	2,077	22.3	4,390	47.2	29	7
	経 営 工 学 科	139	131	94.24	1,646	11.8	3,557	25.5	27	12
	小 計	746	710	95.17	12,696	17.0	25,963	34.8	262	47
大 学 院 工 学 研 究 科	機 械 工 学 専 攻	42	42	100.00	1,081	25.7	2,142	51.0	2	4
	生産機械工学専攻	33	31	93.93	1,032	31.2	2,085	63.1	1	1
	電 気 工 学 専 攻	64	63	98.43	1,171	18.2	2,269	35.4	5	3
	建 築 学 専 攻	34	27	79.41	876	25.7	1,901	55.9	1	5
	土 木 工 学 専 攻	25	24	96.00	877	35.0	1,879	75.1	0	0
	経 営 工 学 専 攻	20	20	100.00	846	42.3	1,829	91.4	1	1
	原子力工学専攻	10	9	90.00	728	72.8	1,657	165.7	0	0
	小 計	228	216	94.73	6,611	28.9	13,762	60.3	10	14
合 計	974	926	95.07	19,307	19.8	39,725	40.7	272	61	

■平成7年度卒業見込者に対する
都道府県別求人数及び就職内定者数



平成7年度就職内定先企業/ 資本金順上位50社

企業名	就職人数
日本電信電話㈱	9名
東京電力㈱	3名
ソニー㈱	3名
㈱東芝	2名
㈱日立製作所	4名
三菱重工業㈱	2名
東北電力㈱	1名
富士通㈱	1名
日産自動車㈱	2名
東日本旅客鉄道㈱	3名
松下電器産業㈱	1名

日本電気㈱	2名
三菱電機㈱	2名
三洋電機㈱	1名
積水ハウス㈱	3名
東京瓦斯㈱	2名
アサヒビール㈱	1名
日本原子力発電㈱	1名
北海道電力㈱	1名
大日本印刷㈱	2名
京セラ㈱	1名
三菱マテリアル㈱	1名
キャノン㈱	1名
大成建設㈱	4名

三菱地所㈱	1名
本田技研工業㈱	1名
㈱熊谷組	6名
㈱ブリヂストン	1名
富士重工業㈱	2名
㈱長谷工コーポレーション	1名
大和ハウス工業㈱	9名
清水建設㈱	6名
電源開発㈱	1名
日本通運㈱	2名
沖電気工業㈱	4名
川崎重工業㈱	1名
石川島播磨重工業㈱	1名

鹿島建設㈱	2名
ミネベア㈱	5名
いすゞ自動車㈱	1名
トステム㈱	1名
㈱フジタ	1名
古河電気工業㈱	1名
㈱竹中工務店	2名
㈱ソニー・ミュージックエンタテインメント	2名
パイオニア㈱	1名
富士電機㈱	1名
日本セメント㈱	1名
日本衛星放送㈱	1名
オリンパス光学工業㈱	2名

進路は早めに決める!!

ここ数年の就職状況は、工学部において
もなかなか厳しい現状にあります。

大手企業の採用縮少という状況の中にあっ
て、大学院への進学もこの余波を受けて予
断を許さない状況となっています。

“備えあれば憂いなし”のとおり子弟の
卒業後のことについて本人とご家族で良く
話し合いを行い、“就職か進学か?”という
問題に直面した際に即断できるように心掛
けておいてください。

就職・進学活動スケジュール

進路先 学年	公務員等	民間企業	本学大学院 進 学	他大学大学院 (海外留学)
1・2年生 (就職か進学かを 考える)	4~6月 ●公務員受験模擬 試験など 12 月 ●公務員受験 講座など 2~3月 ●公務員受験模擬 試験	自己の適性に基づいて家庭で協議		
3年生 (進路につ いてより具 体的に考 える)	4~6月 ●公務員受験模擬 試験など 12 月 ●公務員受験講座 2~3月 ●公務員受験模 擬試験	4~5月 ●就職適性検査 ●一般常識模擬テスト 11~12月 // // 10~11月 ●就職ガイダンス (資料請 求カード、Uターン資料 等の配布) 2~3月 ●資料による企業研究	5 月 ●進学予定者対象の 進学説明会 ●図書館などで大学院 の各専攻内容や 入試問題等を検討	●他大学または留 学先より資料を 取り寄せ情報収 集活動
4年生 (就職進学活動の本番です)	4~6月 ●公務員受験 模擬試験 ●試験開始	4~5月 ●就職ガイダンス (学科別に 各種就職講習会など) ●就職適性検査 ●一般常識模擬テストなど 4~6月 ●学内での希望調査および 推薦者決定 7 月 ●推薦書発行 10月上旬 ●結果通知 ●学内での採用内定報告手続	5月下旬 ●進学予定者対象の 進学説明会 6 月 ●指導教授との面接 推薦入学候補者の決定 8 月 ●学生募集要項入手・願書提出 9 月 ●第1次入学試験 2 月 ●第2次入学試験	4~5月 ●指導教授と相談 の上、進学先の 検討 9 月 ●入学試験 (大学 の要項)

絵で見るキャンパススポット



シリーズ第2弾は、武蔵工大で最多の研究室を擁する10号館。学科も機械・電気・土木・経営工学科と4学科にわたり、各研究室の様々な実験装置や時計台をかねた円筒階段がユニークな存在となっています。

また卒論や学会の発表前ともなれば徹夜で研究・実験が続けられ、いつでもどこかしらの灯がともっていることから、通称“不夜城”と呼ばれています。

10号館の各学科研究室一覧

- | | | | |
|--|--|--|--|
| ● 機械工学科
表面工学研究室
機械力学研究室
制御工学研究室
熱工学第1研究室
熱工学第2研究室
機械工作研究室
流体工学研究室 | ● 電気電子工学科
電気応用研究室
電気機器研究室
プラズマ第1研究室
プラズマ第2研究室
電力情報研究室 | ● 土木工学科
コンクリート研究室
水工学研究室
建設情報研究室
土質基礎研究室 | ● 経営工学科
林研究室
渡辺研究室
武田研究室
村原研究室
廣田研究室
吉田研究室
細野研究室
島田研究室
吉岡研究室
藤田研究室 |
|--|--|--|--|

5F

電気電子工学科 | 経営工学科 | 機械工学科

第3実験室 | 第4実験室 | 第5実験室 | 特別システム実験室 | 人間工学実験室 | 林研院生室 | 制御工学研究室 | 表面工学研究室

グルグル 浴につけて電流を流すとメッキされる。
例えはテフロン加工のフライパン

化学的な表面工学研究室

液体成分を測る装置
価格は高級車1台分とか

薬品棚がズラリ。まるで理科の実験室

実験は白を揃えます

薬品でも壁に穴があくので

5階にあるので、足のケガはかなリツイ

4階なのになぜか雨漏りが?

4F

電気電子工学科 | 経営工学科 | 機械工学科

電気機器研究室 | 第2実験室 | 第1実験室 | 渡辺研究室 | 武田研究室 | 林研究室 | 機械力学研究室 | 制御工学研究室

例えは リニアモーターカーの研究

磁力に勝る電気機器研究室

美化係

先生がキレイ好き
なんだそうです

室内は雑煙!
廊下にはホタル族が...

腕をつらぬくこの磁力!

6年もののパイプベッド

冷蔵庫も
研究室の必需品

実験に熱中/「ひっくり返したら死す」だって



10号館一レイと評判の
廣田研究室



▲目の保養? 壁に飯島愛のポスター発見!!



▲整然ノキレイな計算室



▲恒例の大掃除
▲そのあけそのけ机が通る!

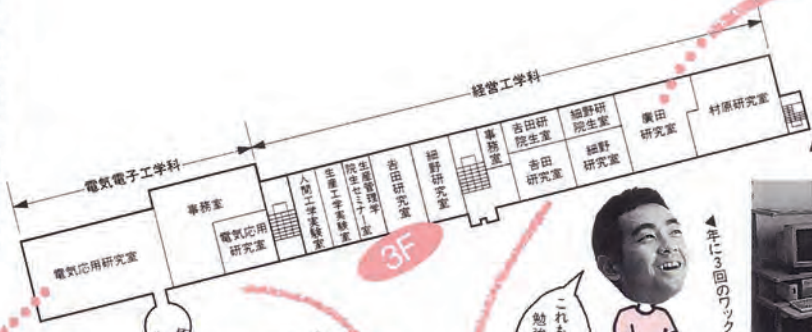


▲年に3回のワックスかけに遭遇!!
これぞ経営工学の
勉強だ!



▲新聞折り込み広告の
研究をしている
んですよ

▲室長の秋田君とオシャレな廣田先生



▲フドンが!!
「あーこれどこに置くの?」
床にじかに
敷くんです



▲就職・進学決定の看板!

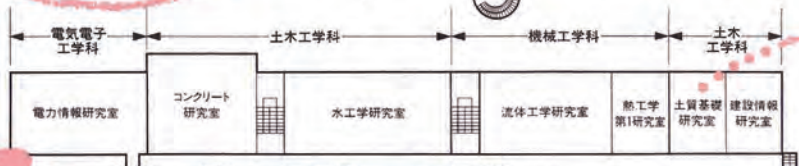
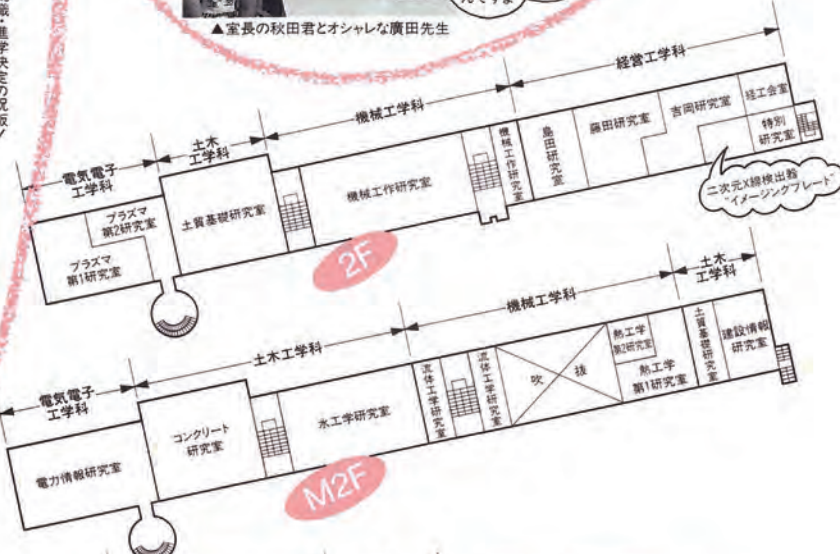
企画室



金画室有り!! 人材豊富な
電気応用研究室



▲有害ガスを分解中



▲9月にリネコアル、
とてもキレイな2階



▲実験室
「イメージングプレート」



▲遠心模型実験装置(カメラ内蔵)
地滑りの様子を再現する



▲こんな
ものもありました
これはいいトイレだ...



▲土木は汚れやすいので、つなぎを愛用



▲4年生の学生室 (M2階)

土ならおまかせ
土質基礎研究室

今回取材にうかがったのは、「モーターサイクル部」と「硬式庭球部」。武蔵工大の中でもとくに「部活大好き」と目される両部員たちに普段の活動内容や、部内の雰囲気、今後の目標などについて聞きました。

バイクを純粋に愛する若者が集う、モーターサイクル部

新設された部室は宝の山

バイクを愛する若者たちと聞くと、つい暴走族や、危険を顧みずに峠を猛スピードで走り抜けるローリング族を想像してしまいがちですが、もちろんこのモーターサイクル部には、そんな学生は一人もいません。ここにはバイクという乗り物を純粋に愛する者たちだけが集っています。

現在部員数は35名。女性部員も2人ほどいるそうです。主な活動内容を部長の倚水宏君（土木工学科・3年）に聞きました。



▲走れば必ず転ぶ伝説の人、倚水君

「関東学生二輪クラブ連盟が主催するレースが年に2回あって、それに参加するのが我が部としていちばん大きなイベントですね。あとは東京六大学が主催する50ccレースに特別に参加させてもらったり、個人個人で、社会人参加の大会に出場したりもしています。基本的にすべてのレースは、参加したい者が参加するという形をとっています。技術とかタイムの速さとかは関係なく、やる気のあるものなら誰でもレースに出場できるというわけです」

とはいえ、レースだけが主な活動内容というわけではなく、モーターサイクル部はツーリングも頻繁に行なっています。とくに春の新歓ツーリングは、部員一同が楽しみにしているイベントだそうです。

とはいえ、レースだけが主な活動内容というわけではなく、モーターサイクル部はツーリングも頻繁に行なっています。とくに春の新歓ツーリングは、部員一同が楽しみにしているイベントだそうです。

「今年は2泊3日で日光にツーリングに行きました。1年生の中にはまだ免許を取得していない人やバイクを持っていない人がいるので、そういう人は先輩が運転する車に乗せて行って……。大所帯でツーリングする気分はサイコーですよ」（大日方太一君・機械工学科3年）



▲4年生になってもレースを続けるという大日方君

基本的には水曜日が週に一度のミーティングの日。しかし水曜日以外でも、いつも部室に10人前後の部員たちが集まるそうです。

「なぜかしら集まってしまうんですよ（笑）。別に何をするってわけでもないんですがバイクの話をしたり、自分のバイクの整備をコツコツしたりしているんですよ」（倚水君）

さすがに工業大学の学生だけあって、バイクのメカをいじることが嫌いな人は一人もいないとか。そんな部員たちにとって、先輩たちが残していった工具や、バイクの部品が豊富に備わっている部室は、まさに「宝の山」なのかもしれません。

「興味の無い人にすれば、ガラクタの山に埋もれた汚い部屋に見えるかもしれませんが、僕らにとってはここが最高の場所なんです」（梅原努君・機械工学科1年）



▲持っている免許は原付だけ//の梅原君



▲食べる天才、走るのはいくらからの和田君

「部室にすれば、先輩たちがいろいろとバイクのことを教えてくれるから楽しいんです。中古のバイクでいい出物があるよ、なんて情報も入ってくるし」（和田睦史君・機械工学科1年）

バイクという、共通の趣味を持つ者同士が集まる部室は、彼らにとってこの上なく居心地のいい空間になっているようです。

故障は自分たちの手で直す

決して安価ではないバイクを購入し、さらにレースに参加するとなると、学生の身としてはかなり経済的に苦しいものがありそうな気がしますが、この問題をモーターサイクル部の部員たちはどのように解決しているのでしょうか？

「新車を買う人なんていないんじゃないかな。みんな中古のバイクを買っていますね。先輩が使っていたものをいただいたりして、それを修理しながら乗るというパターンが多いですね」（河田晃一郎君・機械工学科1年）



▲走り飲みやや危険信号？の河田君



▲原動機で飛ばす、バイク大好きな塩澤君



▲内側から追込みをかける大日方君の走り(関東ロードレース選手権にて)

「故障しても、ちょっとくらいのことだったらバイク屋には持っていきません。お金がもったいないですから。それに先輩のアドバイスを聞きながら直せば、たいていの故障は直せますよ」(塩澤陽君・機械工学科1年)

なるほど、中古を購入したり、自分たちでメンテナンスをしたりして、なるべくお金をかけないように努力しているようです。しかし、それでもガソリン代やサーキットの使用料などはバカにならない出費となってしまうようで、ほとんどの学生がアルバイトでそのお金を捻出しているとか。

「授業がぎっしり詰まっているので、バイトと言ってもそれほどたくさんのお金は稼げないんです。だからバイトのお金はほとんどそのままバイクに消えていってしまいますね。でも、好きなことですから。別に今の生活に不満はありません」(大日方君)

アルバイトのお金はそのままバイクに消えてしまう……これは多くの部員に共通する意見です。しかし大日方君のように、このことを不満に感じる人は少ないようです。きっと苦労を補って余りある「何か」を彼らはバイクに感じているのでしょう。



▲メカの天才/田村尚弥君(大学院2年・右)の指導をうける、八色拓哉君(機3・左)



▲ガラクタではありません、僕らには宝の山ノ

スピードよりも安全を重視

バイクのいちばんの醍醐味は？ と部員たちに聞くと、やはり「レースのおもしろさ」との答えが目立ちました。

50ccだと70～80キロ、125ccだと170キロ、250ccだと240キロもスピードが出るというレース。そのどこに彼らは魅力を感じているのでしょうか。



▲見よ、この勇姿を/ 左から大日方君、阿藤君、遠藤君



▲自称「部内最速男」の松本君

「自分でもわかりません。初めてサーキットを走ったときは恐くて恐くて仕方がなかったんですが、それがいつからか快感に変わってしまったんですよ」(松本幸礼君・機械工学科1年)

「200キロ以上スピードを出す」と視界が狭くなってくるんですよ。あの感覚が僕は好き。こんなスピード、公道では絶対にさせませんから」(倚水君)

また11月5日に行なわれた関東ロードレース選手権というレースに、社会人に交じって出場してきたばかりの大日方君は、「レース前のドキドキする緊張感がたまらない」と言います。ちなみに11月5日のレースには、阿藤紳司君(機械工学科3年)、遠藤光則君(建築学科2年)も参加し、結果は全18台中、大日方君が12位、阿藤君が13位、遠藤君が14位だったそうで、「別に狙ったわけではないので誤解しないように」(大日方君)とのことでした。

レースは常に危険と背中合わせ。一歩間違えば大きな事故につながってしまいます。そこでモーターサイクル部は、千葉にある京葉スピードランドなどのサーキットに頻繁に出かけ、練習走行をしながら安全なライディングテクニックの習得を心がけているそうです。

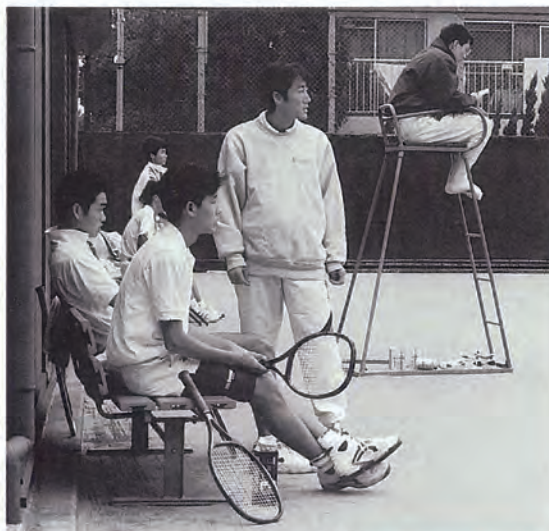
「それぞれが勝手に走るというわけじゃなく、後輩にはきちんとしたテクニックや、サーキット走行をする際のマナーなどを徹底的に教えます。もちろんいちばん気をつけているのは、いかに安全に走るかということ。速さは二の次です」(倚水君)

スピードの追求よりもセーフティライディングを……これはスポーツとしてバイクを楽しむ者にとって、絶対に必要な心構えなのです。

「サーキットで走るということとても危険なことに感じるかも知れませんが、公道で走ることのほうが、よっぽど危険なんですよ。サーキットにはバイクしか走ってませんが、公道には、他の車や通行者がいっぱいいるわけですから。その辺のことを先輩からしっかり教えられてますから、僕たちは公道で絶対にムチャな運転をしないんですよ」(大日方君)

バイクが好きだから、安全な運転を心がける。武蔵工大モーターサイクル部は、そんな信念を持った仲間たちの集まりなのです。

理工系大学の中でトップクラスの実力を誇る、硬式庭球部



▲試合前の緊張したひととき、野崎君(左)、菱沼君(中)と立っているのが浜崎照道君(機3)

上達したいから練習はとにかく一生懸命

現在、「関東理工科大学テニス連盟」で2部リーグ、また総合大学も参加する「関東大学テニス連盟」においても6部リーグに所属している硬式庭球部。課題や実験が多く、毎日の授業もびっしり詰まっている理工系大学としては、かなりの奮闘ぶりと言えるでしょう。

「一生懸命練習してますからね。月、水、土は義務練習、火、金は自主練習というスケジュールになっているんですが、大会前になると週に5日は練習しています。でもテニスが好きで好きでたまらないやつばかりが集まっている部ですから、それほど苦には感じてません。むしろみんな、練習すればするほど技術が上達することに喜びを感じてるようです」



▲九州男児、実力派の主将野崎君



▲ユーモアたっぷり、大食漢の奥田君

と語るのは主将の野崎靖生君(機械工学科3年)。奥田城司君(経営工学科3年)も「どうせ大学時代にテニスをやるんなら、その分だけうまくなりたくないじゃないですか。そのためにはお遊びではなく、真剣にテニスと取り組まないと……」と言います。

2人のこうした意見を聞くと、硬式庭球部は、「根性」「熱血」「努力」といった言葉が似合う、体育会系クラブの典型といった感じがしてきます。しかし体育会系特有の堅苦しさはまったくなく、部内では、ほどよい上下関係が保たれ



▼試合前の練習では相手選手の動きが気になる

ているようです。「厳しい練習で同じ苦しみを分かちあっている仲間ですから、余計に絆が深まるのかもしれませんが、上級生と下級生の仲はいいですよ。ここで知り合った先輩や後輩たちとは、きっと一生付き合っていくんだろうな、なんて気がします」と語るのは菱沼謙一君(機械工学科3年)。川野泰司君(機械工学科2年)も次のように言います。

「先輩たちは何か悩みがあれば気軽に相談に乗ってくれるからありがたいです。部活動が終わった後もいろいろとかわいがってくれますし。これで女性マネージャーさえいれば最高なんです」(笑)。

なるほど、練習をするときは集中し、それ以外では和やかにとというのが、武蔵工大硬式庭球部のスタイルのようです。

さて部員たちは、日々のハードな練習と学業との両立はどうしているのでしょうか？

「部活動をやってるからって勉強のほうがおおざりになることはないと思います。むしろ逆。部活をやってるからかって生活にリズムができて、勉強にも打ち込めます」(奥田君)

「試験前になると先輩たちがいろいろと教えてくれるんですよ。そういった点では部活動をやっていない学生より有利かも」(川野君)

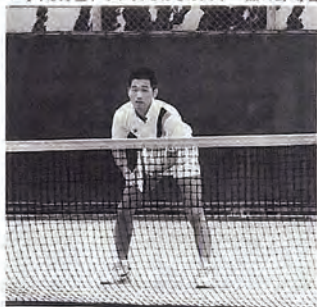
と、部員は口々に、部活と学業の両立は難しくないと言います。中には「部活があるから毎日大学に来て授業に出てるけど、もし部活に入らなかったら、こんなにマジメに大学に来ていないと思う」なんて答えたツワモノもいましたが、とりあえずここでは名前は伏せておきましょう。



▲一見おぼっちゃま風の菱沼君



▲表情豊かな成長株、川野君



▲麦沼君の高い打点からのナイスサーブ(4枚組写真)

慶応ボーイに圧勝/これが僕らの底力

10月29日(日)、武蔵工大において関東理工系大学テニス連盟の2部リーグ戦が行なわれました。相手は慶応大学庭球部です。

午前中に行なわれたダブルス3試合に出場したのは、野崎・麦沼ペア、河野圭吾(機械工学科4年)・田辺聡(機械工学科4年)ペア、川野・松本正和(電気電子工学科3年)ペア。テニスは他のスポーツと違い、応援が拍手だけに限られています。そのため、ラケットがボールを弾く音や選手たちが力を入れたときの声などが、とても鮮明に聞こえ、観客はまるで自分がコートの中で戦っているかのような緊張感を味わえます。部員たちの活躍ぶりを観戦に来ていた武蔵工大側のギャラリーは、終始無言で、食い入るように試合の行方を眺めていました。

ダブルス戦は3試合とも、武蔵工大が見事な勝利を収め、「最初は緊張してましたけど、それが途中でふっきたの



▲ガッツポーズの松本君(左)と川野君(右)



▲ヨシ決まり/田辺君(左)と河野君(右)

が良かったみたい」(麦沼君)、「ひたすらプレイのみに集中したせいでしょう」(田辺君)と、嬉しそうに勝因を語る選手たち。しかしここで油断はできません。午後にはシングルス戦6試合が控えています。

昼休みを挟んでいよいよシングルス戦です。6試合ともダブルス戦以上に白熱した雰囲気。観ている側も思わず手に汗を握ってしまうほどのゲーム展開でした。結果は奥田君、川野君、野崎君、麦沼君、河野君の5人が、それぞれストレート勝ちを果たすという大勝利/松本君は惜しくも負けてしまいましたが、背の高い相手に対してかなりの善戦をしたと言えるでしょう。スコアのほうも7-5、4-6、4-6という非常に僅差でした。

ダブルス戦が3勝0敗、シングルス戦が5勝1敗と、武蔵工大の圧勝のうちに終わった今回の慶応大学戦。来シーズンの1部昇格に向けて、新たな弾みとなったのではないのでしょうか。

技術の向上はもちろん、人間的な成長が目標

硬式庭球部のレギュラーメンバーたちは、毎週水曜日、立川にある立川庭球塾で、日本でも有数のコーチによる特訓を受けています。これはOBの方々の好意と、昭和45年に顧問に就任して以来、ずっと硬式庭球部を見守り続けてきた門馬伯行教授(人文社会科学系)の尽力により実現したものです。

「テニスというスポーツは、年々技術向上しています。私も、なるべく最新のテクニックを習得して部員たちに教えられるようにいろいろと努力を重ねていますが、やはり個人の力では限界があります。そこでOBの方々と相談して、週に一度、優秀なコーチのもとで練習を行なえる機会を設けたんです。私自身、これからは技術面というより、メンタルな面で部員たちのバックアップができたかと考えているんです」(門馬先生)



▲部員たちが信頼を寄せる門馬先生

理工系大学の中で常にトップクラスの座をキープしてきた武蔵工大硬式庭球部。かつては関東理工系大学テニス連盟の1部で東京農大を破って優勝を果たしたこともあるそうです。この「強さ」には、部員たちを影で支え続けてきた門馬先生が存在が、きっと大きく影響していることでしょう。「とはいえ、何も勝つことばかりにこだわっているわけではありません。私のいちばんの願いは、部員たちそれぞれが人間的に大きく成長することなんです」

と語る門馬先生。主将の野崎君も次のように語ってくれました。

「父親から、大学では人間関係を勉強してこい、なんて言われてたんです。だから本当に硬式庭球部に入って良かった。他の大学にも仲のいい友達ができましたし、ひとつの目標に向かって進むときに、いかにチームワークが大切かということも学ぶこともできました。社会に出てからいろんなことがあるでしょうが、どんな事態に遭遇しても真正面から立ち向かっていく自信ができました」

大学でも、塾でも、アルバイトでもテニスづけの毎日。でもそれは、自分自身を大きく成長させることのできる、またとない4年間なのです。

キャンパスピックス CAMPUS TOPICS

横浜市港北ニュータウンに 新学部設置認可申請

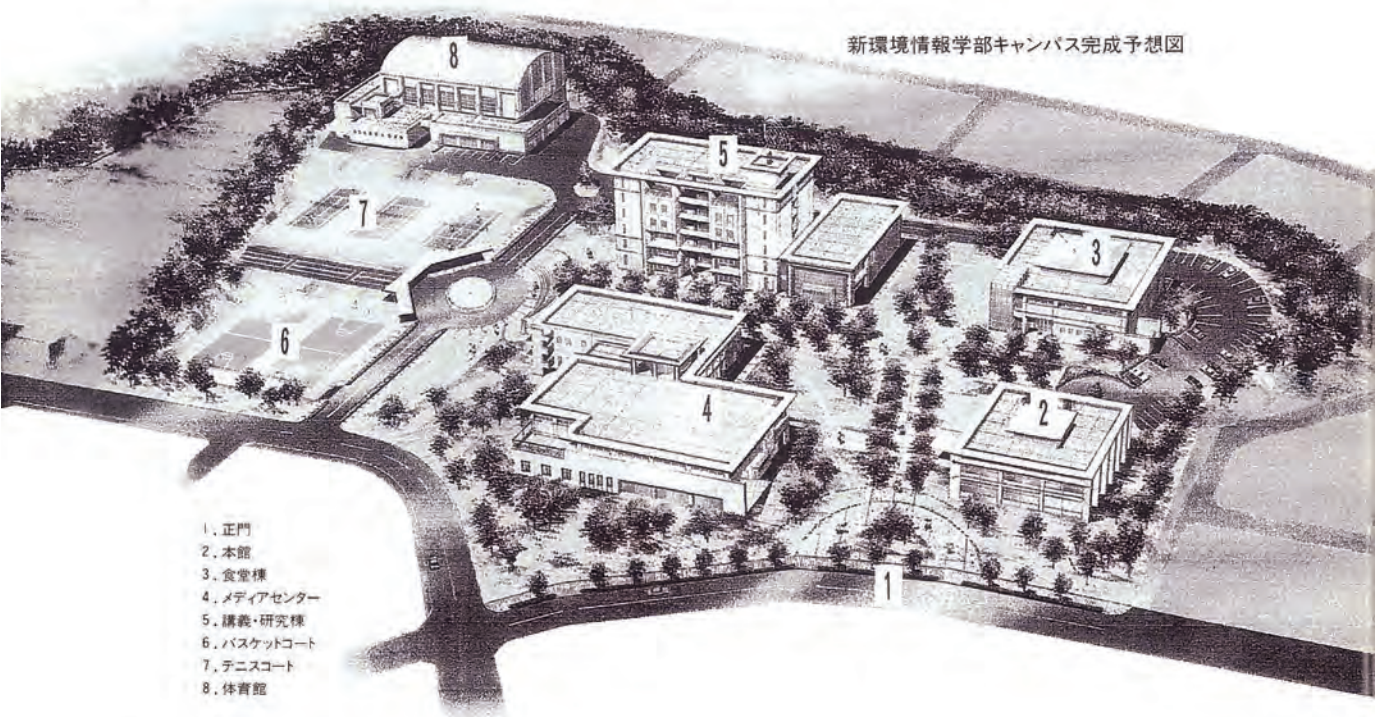
本学では平成9年4月に新学部の開設を目指して、去る9月29日に文部省へ環境情報学部設置認可申請書を提出した。新学部は横浜市の港北ニュータウンに「環境」と「情報」をキーワードにした文系の学部で、大規模宅地開発が進む同ニュータウンに教育・文化センター的機能を持たせたいとする横浜市の誘致により計画されたものである。

新しい学部の「環境情報学部環境情報学科」は1学部1学科の構成になっており、英語能力と急速に発展するコンピュータの機器利用技術を身につけ、「環境と都市」「情報と文化」「環境とマネジメント」

の三分野を軸とした学問分野の教育と研究を行い、総合的価値判断能力と問題解決能力を備えた人材を育成する目的で設置することになっている。

設置場所は横浜市都筑区牛久保西3丁目で横浜市営地下鉄中川駅下車徒歩5分の位置にあり、校地は約5ヘクタールの敷地に講義・研究棟、メディアセンター、体育館、テニスコートなどの諸施設を整備する計画になっている。学生定員は、入学定員190人、3年次への編入学定員20人、収容定員800人になっており、各学年に留学生と帰国子女30人を含むことになっている。

新環境情報学部キャンパス完成予想図



第6回マイテックテニストーナメントについて

学生と教職員が共に楽しめるスポーツ大会として始まったこの大会も第6回を数え、10月の開会式から約2ヶ月に渡り学内を盛り上げてきました。男子がダブルス106ペア、女子ダブルス42ペア、ミ

ックスダブルス56ペアと昨年同様大勢の参加者で行われた今大会ですが、今回より他大学等（東横短大、産能短大、津田スクールオブビジネス）の参加を認めたため、女子のダブルス、ミックスヘ



▲ミックス・ダブルスで優勝した成瀬慎一郎君(経3)と小坂和代さん(経3)

の参加者が増え、それにより実力者が均等化され、どのゲームも白熱した好ゲームとなりました。また、ビギナーズダブルス以外は第1シード以外のペアが優勝するなど波乱含みの展開となりました。今年から、それぞれの競技の決勝戦を学園祭の企画の一つとして行ったため、広く学生、教職員に本大会をPRすることができ、来年以降の大会の盛り上がりも期待できそうです。

学生の憩いの場『談話室』にピアノを寄贈

予ての女子学生及び音楽系団体から設置希望のあったピアノを本年11月、後援会が購入・寄贈しました。

このピアノは、『ヤマハアップライトピアノHQ 300B』で、自動演奏機能を装備したものであり、学生の憩いの場として利用されている、9号館2階の『談話室』に設置されました。



演奏希望者には、特別な利用規則を設けず、自由に弾けるように開放する予定ですが、特に談話室が混み合う昼休みの時間帯には自動演奏機能を

フルに活用して、ピアノを弾けない学生たちもジャズやポピュラーをはじめ、クラシックなどの生演奏を聞いて楽しめるように計画中です。

後援会緊急奨学金後期採用者

去る11月27日行われた平成7年度後援会緊急奨学金後期採用者選考委員会において、慎重審議を行った結果、次の2名が奨学生として採用されました。

- ・工学部機械工学科3年 石川路也(半額・継続)
- ・大学院電気工学専攻1年 奥部陽一(半額)

なお、平成7年度前期の採用が保留となっており、電気電子工学科4年 藤松寛士(半額)が採用となっております。

課外活動短評

1. 柔道部は、6月25日に行われた全日本理工科学学生柔道優勝大会に於て、昨年の準優勝に引き続き、今年も3位に入賞した。
2. 準硬式野球部は、春期新関東1部リーグで準優勝し、その結果出場した清瀬杯(全国大会)ではベスト4と活躍し、秋期リーグ戦においては、念願の初優勝を飾った。
3. バドミントン部は、秋期関東学生リーグ戦5部に於て1位となり、入替戦の結果4部昇格を果たした。
4. 弓道部は、秋期東京都学生リーグ戦4部に於て、男女共にAブロック優勝を飾った。
5. サッカー部のMF山本裕一君(経3)、角鹿精一君(経3)、DF鈴木政樹君(通3)、国司晃君(通3)、の4人が理工科系大学大会で、BEST ELEVENに選ばれた。また、同秋期リーグ戦では、1部リーグへ昇格を果たした。
6. ラグビー部は、全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会関東一区予選で6戦全勝し、来る1月2日から名古屋の瑞穂ラグビー場で行われる全国大会へのキップを手にした。
7. アイスホッケー部は、10月16日東伏見アイスアリーナで行われたインカレ予選最終戦で、成城大学に勝利し、全日本学生氷上選手権大会(インカレ)への初出場が決定した。
8. 空手道部の神山千寿さん(経1)は、国際松濤館空手連盟主催の第15回全国選手権大会で、個人組手と個人型の両種目に於て、一般女子有段の部で優勝を果たした。また、熊谷悟君(建2)は、同大会個人組手で一般男子有級の部で準優勝した。
9. ゴルフ部は、関東大学対抗春季Gブロックリーグ戦にて優勝し、Fブロック昇格を果たした。また、Gブロックの最優秀選手(メダリスト)として吉末守君(土2)が選ばれた。
10. ラジオクラブは、国内最大規模の大会である第37回オールJAコンテスト(4月28・29日開催)で、84局中10位(関東5位)、第25回6m&DOWNコンテスト(7月1日開催)では90局中8位と健闘した。

平成7年度「大学と父母との連絡会」について

平成7年度の「大学と父母との連絡会」は、7月16日(日)の沖縄県那覇市を皮切りに、9月30日(土)の東京地区までの間、全国26会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地において評議員の方々には会の運営等にご協力いただきました。

■平成7年度「大学と父母との連絡会」の出席状況

開催地	開催日	会場名	対象県	対象者数	出席者数	出席率	平成6年度
函 館	9月9日(土)	ホテルリッチ函館	北海道	66名	21名	31.8%	30.3%
札 幌	9月10日(日)	札幌ステーションホテル					
秋 田	9月9日(土)	アキタスカイホテル	秋 田	27	13	48.1	58.6
			青 森	9	0	0	9.1
			岩 手	19	3	15.8	26.3
仙 台	9月10日(日)	仙台東急ホテル	宮 城	41	21	51.2	36.1
			山 形	22	7	31.8	31.6
郡 山	9月10日(日)	郡山ワシントンホテル	福 島	55	26	47.3	32.6
宇都宮	9月9日(土)	関東チサンホテル宇都宮	栃 木	72	19	26.4	27.5
水 戸	9月8日(金)	三の丸ホテル	茨 城	110	23	20.9	32.4
東 京	9月30日(土)	武蔵工業大学	東 京	1,021	147	14.4	14.8
			神奈川	1,485	225	15.2	16.0
			千 葉	274	33	12.0	11.3
			埼 玉	291	42	14.4	13.5
高 崎	9月2日(土)	高崎ターミナルホテル	群 馬	66	17	25.8	22.4
新 潟	9月3日(日)	ホテルイタリア軒	新 潟	44	12	27.3	37.7
松 本	9月3日(日)	松本東急イン	長 野	122	33	27.0	24.4
甲 府	9月2日(土)	第一イン甲府	山 梨	70	21	30.3	27.7
富 山	9月2日(土)	富山エクセルホテル東急	富 山	37	9	24.3	25.7
金 沢	9月3日(日)	金沢東急ホテル	石 川	45	16	35.6	31.3
			福 井	12	3	25.0	8.3
静 岡	9月2日(土)	ホテルアソシア静岡ターミナル	静 岡	238	71	29.8	37.9
浜 松	9月3日(日)	マルコーイン・浜松					
名古屋	8月26日(土)	名古屋東急ホテル	愛 知	70	22	31.4	31.1
			岐 阜	25	5	20.0	18.5
			三 重	22	4	18.2	15.4
大 阪	8月27日(日)	三井アーバンホテル大阪	大 阪	12	1	8.3	16.7
			滋 賀	6	0	0	25.0
			京 都	12	2	16.7	0
			奈 良	8	3	37.5	25.0
			和歌山	8	0	0	0
			兵 庫	14	4	28.6	13.3
岡 山	8月25日(金)	岡山東急ホテル	鳥 取	4	0	0	0
			岡 山	25	10	40.0	16.0
広 島	8月26日(土)	三井ガーデンホテル	広 島	52	17	32.7	28.3
小 郡	8月27日(日)	山口グランドホテル	山 口	23	10	43.5	34.8
			島 根	15	2	13.3	7.1
松 山	8月27日(日)	松本全日空ホテル	愛 媛	19	3	15.8	13.0
			香 川	19	7	36.8	21.1
高 知	8月26日(土)	高知ワシントンホテル	高 知	24	11	45.8	60.0
			徳 島	13	2	15.4	7.7
福 岡	8月27日(日)	ホテルステーションプラザ	福 岡	63	25	39.7	19.0
			佐 賀	8	3	37.5	16.7
			長 崎	10	5	50.0	25.0
			熊 本	6	4	66.7	22.2
別 府	8月26日(土)	日伯ホテル	大 分	26	10	38.5	48.1
			宮 崎	23	3	13.0	24.0
			鹿児島	16	3	18.8	25.0
那 覇	7月16日(日)	那覇東急ホテル	沖 縄	20	11	55.0	76.5
			合 計	4,669	929	19.9	19.9